

2022年度合同委員会 ハイブリッド開催

千葉県環境計量協会
経営・業務委員長 川口 弘樹

千葉県環境計量協会は、原則として全会員は下記の5つの委員会の中のいずれかに属して活動を行っています。合同委員会は、総会で承認された活動計画を実施していくために年に一回すべての委員が出席し交流を深めるとともに、各委員会毎に1年の活動計画を作成する大変重要な会議となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ2年間は開催できませんでしたが、今回は会場とオンラインとのハイブリッドで行なうことで3年ぶりに開催しました。

記

1. 日時：2022年5月25日（水）15:00～17:00

2. 場所：プラザ菜の花 5階 あやめ 千葉市中央区長洲 1-8-1

3. スケジュール：(1) 受付 14:45～15:00
(2) 開会と今年度の予定 15:00～15:15
(3) 委員会別分科会 15:20～16:30
(4) 各委員会活動方針・計画発表 16:30～16:55
(5) 閉会 16:55～17:00

4. 今回の委員会別分科会

ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、委員会ごとにZOOM内の小部屋に分かれて会議を開催しました。

5. 活動計画等の承認について

合同委員会開催の前に開催された理事会で各委員会で検討した活動計画等の承認について協議し、会長承認をもって合同委員会の承認とする方針を確認した。

6. その他

試薬（硝酸）の供給懸念について

ヘリウムガスの供給不足も問題となりつつあり、分析用の資材全般の価格が高騰する傾向がある 等

委員	中嶋 陽一	株式会社古河電工アドバンストエンジニアリング
委員	松田 和樹	松田産業株式会社
委員	酒井 靖子	菱冷環境エンジニアリング株式会社

◇経営・業務委員会

- (1) 会員ガイドの発行（会員事業所毎の人員・設備・証明分野・業務実績の紹介）
 - 7月から原稿依頼開始
- (2) 会員の事業実態の把握とまとめ

	氏 名	事 業 所 名
委員長	川口 弘樹	中外テクノス株式会社
委員	岩永 智之	株式会社アサヒ理化製作所
委員	小野 博利	株式会社環境測定センター
委員	羽根 司	中外テクノス株式会社
委員	日良 聡	月島機械株式会社
委員	伊藤 裕一	株式会社日本公害管理センター

◇教育・企画委員会

- (1) 研修見学会、講演会の開催
 - 日環協・首都圏環協連等と合同でのオンライン開催等で実施方法を今後調整していく
- (2) 実務者技術フォーラムの開催
 - 例年通り11月末に開催する。技術発表会と同日開催など方法はコロナの状況を見ながら後日決定する
- (3) 新任者教育の実施
 - 首都圏環協連との共催で6月16日、17日の二日間でオンライン開催する

	氏 名	事 業 所 名
委員長	箭内 朋子	日鉄環境株式会社
委員	白根 雄太	株式会社東京科研
委員	木塚 智洋	東京パワーテクノロジー株式会社
委員	黒瀬 高章	株式会社ユーベック

◇広報・情報委員会

(1) 会報の発行

→ 行事としては4月の総会から1月の新春講演会までを掲載する
津上新会長の紹介を掲載する

(2) 各種情報の提供

(3) ホームページ情報管理

	氏名	事業所名
委員長	柴田 美保子	株式会社コスモス
委員	越雲 文也	イカリ消毒株式会社
委員	栗澤 秀典	株式会社出光プランテック千葉
委員	川添 公貴	有限会社ケースオフィス
委員	北澤 久和	公害計器サービス千葉株式会社
委員	工藤 潤	株式会社合同資源
委員	松戸 康朗	日廣産業株式会社
委員	山本 祐輔	日鉄テクノロジー株式会社
委員	西村 欣也	株式会社日立産機ドライブ・ソリューション

◇技術委員会

(1) 共同実験（クロスチェック分析）の実施

→ 対象を水中のふっ素：2水準とする 担当 AGC株式会社千葉工場（仮）

(2) 定量限界値の統一等の研究

(3) 計量機器管理の検討

(4) 技術研究発表会の開催

→ 11月の開催とし、実務者技術フォーラムを同日開催

(5) その他議事

- ・硝酸の供給について、半減などの制限は受けているが、分析方法を変更するほどではない
- ・硝酸よりもヘリウムガスの方が見通しが立たず、深刻である
- ・分析に必要な諸材料の価格上昇の影響を受けている
- ・新規分析機器や、JIS等の大きな改正は、今のところない

	氏名	事業所名
委員長	野田 典広	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
委員	小野 諭一郎	中外テクノス株式会社
委員	椎葉 裕	AGC株式会社千葉工場
委員	井上 寛生	株式会社ユーベック
委員	渡邊 澄恵	株式会社太平洋コンサルタント